

swelled neck cells in the lowest part. 5. A few antheridia grow in the lower part of the midrib (rarely on the wings). 6. Upper membrane of basal cell of antheridium sinks always in the center.

On the prothallia of *Marginaria*, the author recognizes also some common characters in glandular-hairs, midrib, rhizoids, archegonia and antheridia. But both in *Marginaria* and *Phymatopsis*, remaining species which have not yet been described are very large in number. Therefore, it is riskfull to determine the characters of these genera in the present state.

〇レンリフラスモ長野県に産す (須賀瑛文) Hidefumi SUGA: *Nitella sublucens*

Allen found in Nagano Prefecture

レンリフラスモはシャジクモ科 (Characeae) フラスモ属 (*Nitella*) 中、等枝節 (*Homoeocleamae*) に属する藻類である。現在までに本種は、台湾 (台南, 今堀 1941) 及び本邦 6 箇所に分布することが知られている。本邦における産地としては、神奈川県 (Allen, 1895, Type loc.), 東京 (斎田, 1887), 愛媛県 (1924), 香川県 (今堀, 1941), 長崎県 (森岡, 1941), 宮崎県 (今堀, 1951) である。いずれも池, 小川に産し (台南は沼), 産地の pH は 6.0~6.4 となつている。これらの産地のうち、本州における産地は、神奈川, 東京といずれも関東地方であつて、その記録は古い。しかしながら、本州の他にも当然産するものと思われていたが、筆者は今回本種を 1956 年 8 月 19 日、長野県下伊那郡大下条村深見池横の水田 (海拔約 500 m) に生育するのを発見採集することが出来たので報告する。

今回本種を採集した場所は深見池横の水田 (旧深見池の一部であつたと思われるところ) であつて、畦道に類する小みち一つへだてて池につらなつている。水田と湖面との護岸にはカワヤナギ (*Salix gilgiana*), イヌコリヤナギ (*S. integra*), 湖中及び湖岸にはアシ (*Phragmites communis*), ツルヨシ (*P. japonica*) などが生育しており、この他水田にコナギ (*Monochoria vaginalis*) など多く見られた。本種はこれらの植物、とくにコナギに混じて、長くのびた稲の中に同じシャジクモ科であるシャジクモ (*Chara Braunii* A. Br.) 及びトガリフラスモ (*Nitella acuminata* A. Br. var. *subglomerata* A. Br.) と混生していた。現在までに本種と混生することが知られている本科植物としては、台湾における *Chara gymnopitys*, *Nitella polycarpa* の 2 種がある。尚、深見池にはシャジクモ科植物は見られなかつたが、これはこの池が 4 m 以下では無酸素状態であること、硫化水素 (H_2S) が多いこと (上野, 1952) などが原因であると考えられる。(名古屋市立あずま中学校)